

## コンパクトディスク コンパクトプレーヤー

### 取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



### D-E404

Sony Corporation © 1999 Printed in Malaysia

### 保証書とアフターサービス

#### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

#### アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

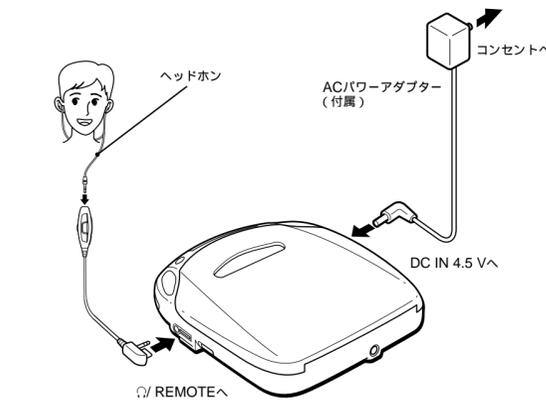
それでも具合が悪いときはサービスへ お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。保証期間中の修理は、保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。部品の保有期間について 当社では、CDコンパクトプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

## CDを聞く / Playing a CD right away! **A**

付属のACパワーアダプターを使ってCDを聞いてみましょう。充電式電池、乾電池(裏面の「電源」参照)や車のバッテリーで聞くこともできます。

### 1 つなぐ

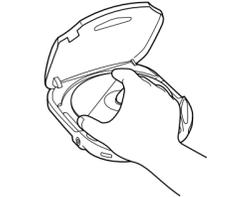


操作	押すボタン
一時停止する(本体のみ)	▶II
一時停止を解除する(本体のみ)	▶II
今聞いている曲を頭出しする(AMS機能)	II◀を1度押す。*
前の曲、さらに前の曲を頭出しする(AMS機能)	II◀を繰り返し押す。*
次の曲を頭出しする(AMS機能)	▶▶を1度押す。*
さらに先の曲を頭出しする(AMS機能)	▶▶を繰り返し押す。*
早送りする(サーチ機能)	II◀を押したままにする。*
早送りする(サーチ機能)	▶▶を押したままにする。*

オートサーチミュージックセンサー  
\*AMSはAutomatic Music Sensorの略です。曲の頭を探す機能です。  
\*\*これらの操作は、演奏中にも一時停止中にもできます。

REPEAT/ENTERボタンを押して「**☞**」を表示してから、▶▶で最後の曲まで頭出しまたは早送り続けると1曲目に戻ります。また、II◀で1曲目まで頭出しまたは早戻し続けると最後の曲に戻ります。

CDを取り出すには  
中心の黒い部分を押さえながら、端のほうからつまみあげます。



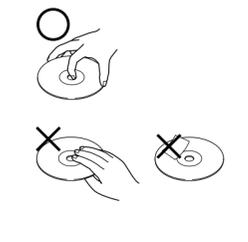
リモコン操作で音量を調節するには  
まずリモコン側のVOL(volume)つまみを最大に合わせ、本体のVOLUMEつまみでリモコンが最大のときの音量を決めます。

#### 表示窓について

- ▶IIまたは▶▶ボタンを押すと(RESUMEスイッチがOFFのとき)、総曲数と総演奏時間が約2秒間出ます。
- 演奏中は、演奏中の曲番号とその経過時間が出ます。
- 曲間には、次の曲が始まるまでの時間が出ます。
- 一時停止中は、止まった時点の表示が点滅します。

#### CDの取り扱いについて

- 演奏面に手を触れないように持つてください。
- 紙やテープを表面に貼らないでください。
- 直射日光があたるところなど高温の場所や、直射日光下で窓を開め切った車の中に放置しないでください。

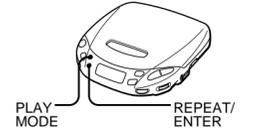


演奏を止めるには、■ボタンを押します。

#### いろいろな聞きかた

##### 繰り返し聞く (リピート演奏) **B**

通常の演奏や、イントロプログラム演奏、シャッフル演奏、プログラム演奏を繰り返し聞けます。1曲だけでも繰り返し演奏できます。



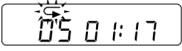
全曲を繰り返すには  
演奏中にREPEAT/ENTERボタンを押します。「**☞**」が出ます。



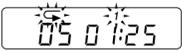
リピート演奏をやめるには、もう1度 REPEAT/ENTER ボタンを押します。

##### 1曲だけを繰り返すには

1 繰り返ししたい曲の演奏中にREPEAT/ENTERボタンを押す。「**☞**」が出ます。



2 「1」が出るまでPLAY MODEボタンを繰り返し押す。

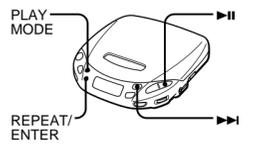


他の曲を繰り返すにはII◀または▶▶を押します。

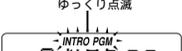
リピート演奏をやめるには、もう1度 REPEAT/ENTER ボタンを押します。

### 聞きたい曲だけを聞く (イントロプログラム演奏) **C**

曲の最初の15秒をひと通り聞きながら曲を選び、選んだ曲だけを聞けます。



1 演奏中に「INTRO PGM」が出るまでPLAY MODEボタンを繰り返し押す。



2 ▶IIボタンを押す。各曲の最初の15秒を次々に演奏します。「INTRO PGM」は速く点滅します。

3 聞きたい曲になったらREPEAT/ENTERボタンを押す。曲が登録されます。聞きたくないときは次の曲に移るまで待つが、▶▶ボタンを押します。

最後の曲の演奏が終わると、「INTRO PGM」の点滅が止まり、登録した曲だけが自動的に演奏されます。

最後の曲までいかに登録を終了するには、▶IIボタンを押します。登録した曲が演奏されます。

■ボタンを押すと、登録した曲順が消えてしまいます。消したくないときは、RESUMEスイッチをONに合わせてください。

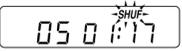
イントロプログラム演奏をやめるには、演奏モードの表示が消えるまでPLAY MODEボタンを繰り返し押します。

### 順不同に聞く (シャッフル演奏) **D**

全曲を順不同に聞けます。



演奏中に「SHUF」が出るまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押す。次の曲から順不同で全曲を1回演奏します。



シャッフル演奏をやめるには、演奏モードの表示が消えるまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押します。

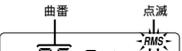
ご注意  
シャッフル演奏中は、II◀を押しても前の曲には戻りません。

### 好きな順に聞く (プログラム演奏) **E**

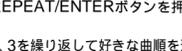
最大22曲まで好きな順に聞けます。



1 演奏中に「RMS」が点滅するまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押す。



2 II◀または▶▶ボタンを押して曲番を選ぶ。曲番と演奏順が出ます。



3 REPEAT/ENTERボタンを押す。

4 2、3を繰り返して好きな曲順を選ぶ。

5 ▶IIボタンを押す。「RMS」の点滅が止まり、選んだ順に演奏が始まります。

■ボタンを押すと、登録した曲順が消えてしまいます。消したくないときは、RESUMEスイッチをONに合わせてください。

プログラム演奏をやめるには、演奏モードの表示が消えるまで、PLAY MODEボタンを押します。

#### プログラムした曲順を確認するには

プログラム中 5の操作の前に REPEAT/ENTERボタンを押します。

プログラム演奏中 「RMS」が点滅するまでPLAY MODEボタンを繰り返し押し、点滅したらREPEAT/ENTERボタンを押します。

REPEAT/ENTERボタンを押すたびに曲番と演奏順が表示されます。

ご注意  
22曲をプログラムした後さらに曲を選ぶと、最初にプログラムした内容が消えて、新しい曲がプログラムされます。

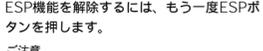
### いろいろな機能を使う

#### 音飛びを防ぐには(ESP<sup>2</sup>) **F**

ESP(Electronic Shock Protection)機能はCDのデータを半導体メモリに貯えておくことにより、音飛びを防ぎます。ESPは、従来のESP機能よりメモリに貯える機能がすぐれ、より音飛びに強くなっています。移動中、歩行中や車の中など振動の多いところで聞くときは、この機能を使ってください。



ESP切替ボタンを押します。「ESP」が出ます。



ESP機能を解除するには、もう一度ESPボタンを押します。

ご注意  
強い衝撃が加わると演奏が停止することがあります。

次のような場合、ノイズが出たり、音が飛んだりすることがあります。

- 一汚れや傷のあるディスクを聞いているとき
- 一特殊な信号が入ったテストディスクなどを聞いているとき
- 一本機に連続的に衝撃が加わっているとき

演奏中にESP機能を切り換えると、少しの間、音がとぎれます。

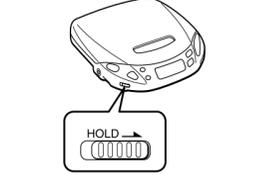
#### 低音を強調するには (SOUND機能) **G**

音楽に合わせて、重厚で迫力のある音で演奏を楽しめます。



ご注意  
音がはずむときは、音量を下けてください。

誤操作を防ぐには(ホールド機能) **H**  
本機をカバーに入れているときなど、誤ってボタンが押されるのを防ぎます。(リモコンで操作することはできます。)



ホールド HOLDスイッチを矢印の方向へ動かします。操作ボタンを押しても、「Hold」が出て動作しません。

ホールド機能を解除するには、HOLDスイッチを矢印と反対の方向へ動かします。

#### 音もれを抑え耳にやさしい音で聞くには(AVLS) **I**

AVLS(Automatic Volume Limiter System)は耳にやさしい音にするために、音量がある一定以上にならないようにします。



AVLSスイッチをLIMITに合わせます。「AVLS」が出ます。



ご注意  
SOUND機能とAVLSを同時に使うと、音がはずむことがあります。その場合は音量を下けてください。

#### 止めたところからCDを聞くには(リジューム機能) **J**

通常は演奏を止めたとき、次は1曲目から演奏されますが、リジューム機能を使うと、最後に止めたところから演奏されます。



リジューム RESUMEスイッチをONに合わせます。

リジューム機能を解除するには、RESUMEスイッチをOFFに合わせます。

ご注意  
リジューム機能をONにしても、ふたを開けると最後に止めたところの記憶が消え、CDの1曲目から演奏が始まります。

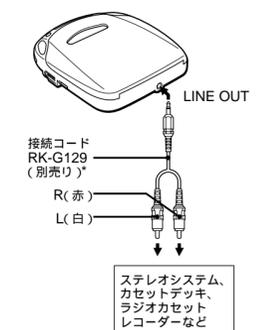
リジューム演奏は、土約30秒の誤差が出ることがあります。

動作の確認音を止めるには  
動作確認のためのピツという音を鳴らないようにできます。

本体電源 AC/パワーアダプター、充電式電池、乾電池(はずします。本体の■ボタンを押しながら、再び電源を接続します。再び確認音が鳴るようにするには、本体電源をはずし、■ボタンを押さずに本体電源を接続します。

### ステレオ機器につなぐ **K**

他のステレオ機器でCDを聞いたり、テープに録音できます。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。接続する機器の電源を必ず切ってから接続してください。



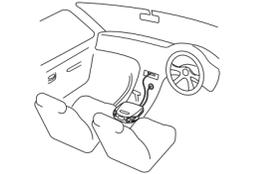
\*LINE INやREC INジャックのない機器をつなぐときは、別売りの接続コードRK-G134を使ってMICジャックに接続します。

ご注意  
CDを聞く前に、つないだ機器の音量を下げてください。思わぬ大音量が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。

- 「ピツ」という操作音はLINE OUTジャックからは出力されません。
- LINE OUTジャックにケーブルを接続しているときは、つないだ機器で音量を調節してください。
- LINE OUTジャックにケーブルを接続しているときは、SOUND機能は働きます。
- ブランクサーチ(無音部検出)機能のあるカセットデッキなどで録音するときは、ESP機能を切ってください。ブランクサーチ機能が働かなくなります。

### 車の中で聞くには **L**

下の絵のように、車の中でCDを聞くことができます。



本機をカーカセットデッキにつなぐには、次のカーアクトセサリーが必要です。

- マウントキット CPM-450PC/CPM-300PC(マウントプレート+カーバッテリーコード+カーコネクティングバック)
- または
- カーバッテリーコード DCC-E245とカーコネクティングバック CPA-8/CPA-9

くわしくは各製品の取扱説明書をご覧ください。

マウントキット(CPM-450PCなど)を使うときは  
カーマウントアダプター(マウントプレートに付属)をマウントプレートに取り付けてから、本機を取り付けてください。

ご注意  
本機をダッシュボードの上に置かないでください。

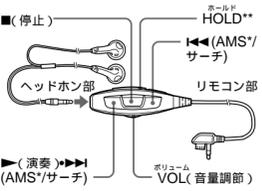
- 本機を直射日光の当たる車の中に置かないでください。
- 雑音を減らすためツニーのカーコネクティングバックを使うことをおすすめします。
- カーバッテリーコードは、別売りください。これに記されているものをお使いください。これ以外のものをお使いになると、発煙・発火・ならびに故障の原因になります。

### イグニッション連動オフ機能 (カーバッテリーコードでお使いの場合)

充電式電池や乾電池が入っていても、車のエンジンを切る(イグニッションキーをOFFにする)と、本機は自動的に停止状態になります。(車種によってはこの機能が働かないことがあります。)

### 付属のリモコンを使う **M**

ヘッドホン部を取りはずして、リモコン部をワイヤード(コード付きの)リモコンとして使うこともできます。

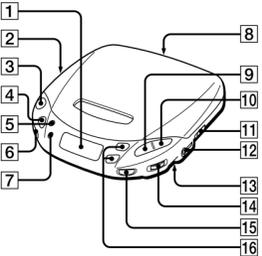


\*Automatic Music Sensor  
\*\*リモコンを使っていないときは、誤操作を防ぐためにHOLDスイッチを矢印の方向へ動かします。

HOLD機能を解除するには、HOLDスイッチを矢印と反対の方向へ戻します。

ご注意  
付属のリモコンでは、他のCDコンパクトプレーヤーを操作できないことがあります。

### 各部のなまえ **N**



- 表示窓
- DC IN 4.5V (外部電源入力)ジャック
- OPENボタン
- ESPボタン
- PLAY MODEボタン
- HOLDスイッチ
- REPEAT/ENTERボタン
- LINE OUT(ライン出力)ジャック
- (停止)ボタン
- ▶II(演奏一時停止)ボタン
- RESUMEスイッチ
- ◊/REMOTE(ヘッドホン/リモコン)ジャック
- AVLS\*(快適音量)スイッチ(底面)
- VOLUME(音量調節)つまみ
- SOUNDボタン
- ◀◀/▶▶(AMS\*\*/SEARCH)ボタン

\*ESPはElectronic Shock Protectionの略です。  
\*\*AVLSはAutomatic Volume Limiter Systemの略です。  
\*\*\*AMSはAutomatic Music Sensorの略です。曲の頭出しをして選曲する方法です。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

裏面につづく

## 充電式電池で使う

初めてお使いになるときは、充電式電池を充電してください。充電式電池はBP-DM10(付属)またはBP-DM20(別売り)をお使いください。使いかたは同じですが、充電時間、持続時間が違いますので、お持ちの充電式電池を確かめてお使いください。BP-DM10、BP-DM20以外の充電式電池は使えません。

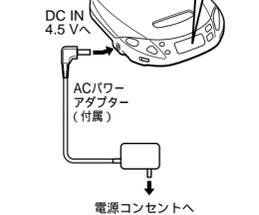
- 電池入れのふたを開ける。



- 「SONY」の文字の向きがふたの裏側の絵と同じになるように充電式電池を入れ、ふたを閉める。



- 下の絵のように付属のACアダプターをつなぎ、約2時間 (BP-DM10の場合)または約3.5時間 (BP-DM20の場合)充電する。充電中は「CHG」が出ます。(すでに充電が完了している場合は、「CHG」と🔌が点滅します。)



- 充電し終わって「CHG」が消えたら、ACパワーアダプターをはずす。

### 充電の目安

電池が消耗すると🔌が表示され、その後「Lo batt」が表示されます。電池を充電してください。

充電式電池を長持ちさせるために、電池は消耗してから充電してください。

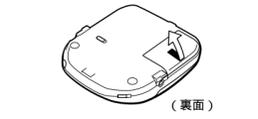
🔌注意
•充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。

•初めて充電するときや長時間使用しなかった後では、充電しても通常の持続時間より短いことがあります。何回か充放電をすると通常の状態に戻ります。

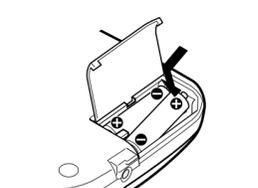
•充電後、常温で使える時間の半分くらいで電池がなくなってしまうときは、新しい充電式電池BP-DM20またはBP-DM10と交換してください。これ以外の充電式電池(単3形充電式電池など)は使えません。

## 乾電池で使う

- 電池入れのふたを開ける。

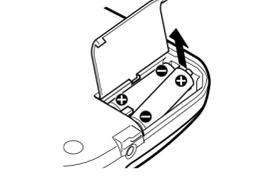


- 単3形アルカリ乾電池2本(別売り)を電池入れの⊕⊖の表示に合わせて入れ、ふたを閉める。



🔌注意
•本機には、マンガン電池はお使いになれません。

乾電池を取り出すには下の絵のように、⊕側を引き上げて取り出します。



### 電池交換の目安

乾電池が消耗すると🔌が表示され、その後「Lo batt」が表示されます。。2本とも新しい乾電池と交換してください。

乾電池の取り扱いについて
液漏れや破裂を防ぐため次のことをお守りください。
•新しいものと古いもの、または違う種類のをを混用しないでください。
•充電しないでください。
•長い間使わないときは、出しておいください。
•万一、液漏れしたときは、よく拭き取ってから、新しい電池に入れ換えてください。

電池の持続時間(水平に置き、振動のない状態で演奏した場合)(EIAJ\*)

	ESPがOFFのとき	ESPがONのとき
BP-DM20 (約3.5時間充電**)	約9時間	約9時間
アルカリ乾電池2本 Sony LR6SG	約16時間	約15時間
BP-DM10 (約2時間充電**)	約5時間	約4.5時間

\*EIAJ(日本電子工業会)の測定方法に基づいています。
\*\*充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。

### 電池ふたがはずれたときは

電池ふたは本機を誤って落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。下の絵のようにはめ直してください。

🔌注意
•充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。



### ▶その他

## 使用上のご注意

## 安全のために

- 本機に使われているレーザーが目にあたると危険です。絶対にプレーヤーを分解したりしないでください。
- 万一、異物が中に入ったときは、電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
- DC IN 4.5 V(外部電源)ジャックには異物を入れしないでください。

### 電源について

- 本機に使われていないときは、すべての電源をはずしておいてください。

### ACパワーアダプターについて

- 付属のACパワーアダプターまたは別売リアクセサリーに推奨されているACパワーアダプターをご使用ください。これ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

<span>🔌</span> 極性統一形プラグ
-------------------------

- 電源コンセントから抜くときは、必ずACパワーアダプターを持って抜いてください。

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

この製品には、ニカド電池が使用できます。ニカド電池はリサイクルできる貴重な資源です。ニカド電池の交換および、ご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

- 電池を火の中に入れてください。
- 発熱、発火などのおそれがありますので、充電式電池の⊕端子と⊖端子を金属で接続しないでください。(金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管はしないでください。)

### 本機の取り扱いについて

- ディスクテーブルのレンズには指を触れないでください。また、ホコリがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。ディスクに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。
- 次のような場所に置かないでください。
  - 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  - ダッシュボードや直射日光下で窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。
  - 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  - ホコリの多いところ。
  - ぐらついた台の上や傾いたところ。
  - 振動の多いところ。
  - 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、ラジオやテレビから離してください。

- ACパワーアダプターでご使用中は、本機を絶対に布などでくまなくしないでください。本機の内側および外部の温度が上がり、思わぬ結果が発生することがあります。

### ディスクの取り扱いについて

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

### ヘッドホンで聞くときのご注意

- 交通安全のために
  - 自転車やバイク、自動車などの運転中は、ヘッドホンは絶対に使わないでください。歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。とくに、踏切や横断歩道では充分にご注意ください。

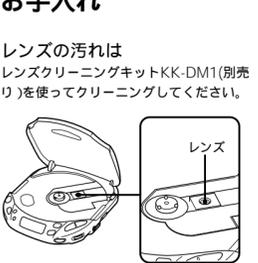
- 耳を守るために
  - 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。音を守るために、音量を上げすぎないように注意しましょう。

- まわりの人のことを考えて
  - ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

雑音の多い所では、音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くとはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

## お手入れ

レンズの汚れはレンズクリーニングキットKK-DM1(別売り)を使ってクリーニングしてください。



キャビネットの汚れは柔らかい布で空ぶきます。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

## 故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう1度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

## 演奏が始まらない。または、ディスクを入れても「no disc」が出る。

- ディスクが汚れている、または大きな傷がある。大きな傷がある場合は、ディスクを取り換える。
- ディスクのラベル面を上にして入れる。
- 結露している。ディスクを取り出して、そのまま数時間置く。
- レンズが汚れている。
- 本体、電池入れのふたをしっかりと開める。
- 充電式電池と乾電池を正しく入れる。
- ACパワーアダプターをコンセントにしっかり差し込む。

## ▶▶ボタンを押すと、「00」が一瞬表示されて消える。演奏が始まらない。

- 電池の残量がない。充電式電池は充電する。乾電池はすべて新しいものに取り換える。

音が出ない、または雑音が聞こえる。

- プラグをしっかりと差し込む。
- プラグの先が汚れている。乾いた柔らかい布でクリーニングする。

### 「HOLD」表示が出ている。

- 付属のACパワーアダプターか別売りのACパワーアダプターAC-E45L/AC-E45MA/AC-E45HGを使う。

### ボタンを押すと「Hold」が出る。

- HOLD状態になっている。HOLDスイッチを矢印と逆の方向にずらし、HOLD機能を解除する。

### ボタンを押すと「Lo batt」が出る。

- 充電式電池が消耗している。ACパワーアダプターを接続し、充電式電池を充電する。
- 新しい乾電池と取り換える。

### 乾電池使用時の演奏時間が短い。

- マンガン乾電池を使用している。アルカリ乾電池を使う。
- 新しい乾電池と取り換える。

## ボリュームを最大にしても音量が小さくなる。

- AVLSスイッチがLIMITになっている。NORMにする。
- ヘッドホンをLINE OUTジャックにつないでいる。☐REMOTEジャックにつなぐ。

## 主な仕様

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
取り込み方式	非接触光学式読み取り(半導体レーザー使用)
レーザー	GaAlAs ダブルヘテロダイオードλ=780 nm
回転数	約500 rpm～200 rpm(ESP OFF時)約1000 rpm～400 rpm(ESP ON時)
エラー訂正方式	ソニースーパーストラテジー(クロスインターリーブリードソロモンコード)
復号化(D/A)	1 bitクォーツ時間輪制御
周波数特性	20 Hz～20,000 Hz <span>±</span> dB*
ワウ・フラッター	測定限界以下*
出力端子(電源電圧4.5 V時)	ライン出力(ステレオミニジャック) 1個最大出力レベル 0.7 Vrms(47 kΩ)推奨負荷インピーダンス 10 kΩ以上ヘッドホン出力(ステレオミニジャック)1個最大出力レベル 15 mW+15 mW (EIAJ)16 Ω
推奨負荷インピーダンス	16 Ω
*日本電子機械工業会(EIAJ)規格による測定値です。	

電源•その他
電源

- 充電式ニカド電池BP-DM10、DC 2.4 V、650mAh(付属)
- 充電式ニッケル水素電池BP-DM20、DC 2.4 V、1200 mAh(別売り)
- 単3形アルカリ乾電池2本(別売り): DC 3.0 V
- 外部電源ジャック 定格DC 4.5 V ACパワーアダプター(付属)を接続してAC 100V電源から使用可能

カーバッテリーコード(別売り)を接続して自動車バッテリーから使用可能

本体寸法	約129×28×146 mm(幅/高さ/奥行き、最大突起部含まず、奥行きは傾斜部含まず)
最大外形寸法	約129×28.5×146 mm(幅/高さ/奥行き)
質量	本体 約220g <p>ご使用時 約310 g(アルカリ乾電池、ディスク、リモコン付きヘッドホンを含む)</p>
動作温度	5℃～35℃

付属品
ACパワーアダプター(1)
充電式電池(1)
リモコン付きヘッドホン(1)
取扱説明書(1)
サービス窓口\*ご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

### 別売リアクセサリー

国内のみ販売

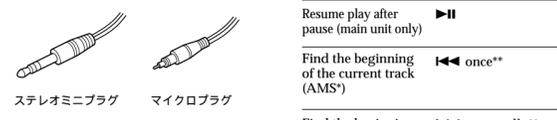
ACパワーアダプター AC-E45L、AC-E45MA(ワールドホルダータイプ)
カーマウントキットCPM-450PC(マウントプレート+カーバッテリーコード+カーコネティングバック)
カーコネティングバック CPA-8
接続コード RK-G129、RK-G136
カーバッテリーコード付きカーコネティングバック CPA-85U
ヘッドホン MDR-E848SP、MDR-A44

国内、海外で販売
アクティブスピーカー SRS-A71、SRS-T1
充電式ニカド電池 BP-DM10
充電式ニッケル水素電池 BP-DM20
カーバッテリーコード DCC-E245
ヘッドホン MDR-E848LP、MDR-35

### 海外でのみ販売

ACパワーアダプター AC-E45HG
マウントプレートCPM-300P
マウントキットCPM-300PC(マウントプレート+カーコネティングバック+カーバッテリーコード)
カーコネティングバック CPA-9
接続コード RK-G129HG、RK-G136HG
カーバッテリーコード付きカーコネティングバック DCC-E26CP
アクティブスピーカー SRS-A15、SRS-A35
ヘッドホン MDR-A44L、MDR-301LP

別売りのヘッドホンで付属のリモコンを使う場合はステレオミニプラグのものをお使いください。マイクロプラグのものは使えません。



国によって扱っているアクセサリーが違います。詳しくはお買い上げ店、サービス窓口、海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

CE 製品上のCEマークはEU加盟国で販売されるもののみ有効です。

Go forward quickly	Hold down <span>▶▶▶</span> **
Go backwards quickly	Hold down <span>◀◀◀</span> **

\*AMS = Automatic Music Sensor
\*\*These operations are possible during both play and pause.

If you press REPEAT/ENTER to display ◀\*\*, you can locate the tracks continuously in the following order:

- When using ▶▶▶: next track → next track ..... last track → first track → second track .....
- When using ◀◀◀: previous track → previous track ..... first track → last track .....

To remove the CD
Remove the CD while pressing the pivot.

Notes on controlling the volume with the remote control
Set the VOL (volume) control on the remote control to the maximum. Then adjust the volume on the player to the level that you want to be the maximum volume of the remote control.

On display

- When you press ▶▶▶ or ▶ (when RESUME is set to OFF), the total number of tracks in the CD and the total playing time appear for about 2 seconds.
- During play, the track number and the elapsed playing time of the current track appear.
- Between tracks, the time to the beginning of the next track will appear with the “-” indication.
- During pause, the elapsed playing time at the current point flashes.

### Notes on Handling CDs

- To keep the CD clean, handle it by its edge.Do not touch the surface.
- Do not stick paper or tape onto the CD.
- Do not expose the CD to direct sunlight or heat sources such as hot air ducts. Do not leave the CD in a car parked under direct sunlight.

### ▶Disc Playing

## Playing a CD right away! ▶

If you want to play a CD right now, choose to use your player on house current. Other choices are the following three: rechargeable battery, dry batteries (see “Power Sources”) and car battery.

- Make connections.
  - Connect the supplied earphones with remote control to the ☐/REMOTE jack firmly. Also connect the supplied AC power adaptor to the DC IN 4.5 V jack of your player and a wall outlet. If the AC power adaptor does not fit the wall outlet, use the AC plug adaptor.

- Place a CD.
  - Press OPEN to open the lid.
  - Fit the CD to the pivot with the label side up.

- Play a CD.
  - Press ▶▶▶ (▶ on the remote control).
  - Adjust the volume.

To stop play, press ■.

To	Press
Pause (main unit only)	<span>▶▶▶</span>

Resume play after pause (main unit only)	<span>▶▶▶</span>
--	------------------

Find the beginning of the current track (AMS)\*

Find the beginning of previous tracks (AMS)

Find the beginning of the next track (AMS)

Find the beginning of the succeeding tracks (AMS)

Go forward quickly	Hold down <span>▶▶▶</span> **
Go backwards quickly	Hold down <span>◀◀◀</span> **

\*AMS = Automatic Music Sensor
\*\*These operations are possible during both play and pause.

If you press REPEAT/ENTER to display ▶▶▶\*\*, you can locate the tracks continuously in the following order:

- When using ▶▶▶: next track → next track ..... last track → first track → second track .....
- When using ◀◀◀: previous track → previous track ..... first track → last track .....

To cancel INTRO PGM play, press PLAY MODE until the play mode indication disappears from the display.

To cancel INTRO PGM play, press PLAY MODE repeatedly until the play mode indication disappears from the display.

To cancel shuffle play, press PLAY MODE repeatedly until the play mode indication disappears from the display.

## Playing tracks in random order (Shuffle Play) ◻

You can program up to 22nd tracks to play in any order you choose.

- During play, press PLAY MODE repeatedly until “RMS” flashes.
  - RMS = Random Music Sensor
- Press ◀◀◀ or ▶▶▶ to choose a track. The track number and the playing order appear.
- Press REPEAT/ENTER to program the track.

## ▶Repeat steps 2 and 3 to program the remaining tracks.

- Press ▶▶▶. “RMS” stops flashing and the tracks you chose play in the order you specified.

If you press ■, the program will be erased. To prevent accidental erasure, set the RESUME switch to ON.

To cancel RMS play, press PLAY MODE until “RMS” disappears.

To check the program
During programming:

- Press REPEAT/ENTER before step 5.

During RMS play:

- Press PLAY MODE repeatedly until “RMS” flashes, then press REPEAT/ENTER. Each time you press the button, the track numbers appear in the order you specified.

To repeat all the tracks
Press REPEAT/ENTER during play.
◀\*\* appears.

To cancel repeat play, press REPEAT/ENTER again.

To repeat a single track

- Press REPEAT/ENTER while the track you want to repeat is playing.
◀\*\* appears.
- Press PLAY MODE repeatedly until “1” appears.

To repeat another track, press ◀◀◀ or ▶▶▶.

To cancel repeat play, press REPEAT/ENTER again.

Press ESP. The ESP indication appears.

To release the ESP function, press ESP again.

To enjoy more powerful bass sound ◻
You can enjoy a powerful bass-boosted sound.

Press SOUND to select “MB (Mega Bass)” or “GRV (Groove)”. “GRV” is more effective.

To lock the buttons ◻
You can lock your player against any accidental operations. (You can still operate the unit with the remote control.)

Slide HOLD in the direction of arrow. When you press any button, “Hold ▶” appears in the display.

To unlock, slide HOLD back.

To protect your hearing (AVLS) ◻
The AVLS (Automatic Volume Limiter System) function keeps down the maximum volume to protect your ears.

Set AVLS to LIMIT. The AVLS indication appears.

To resume playing from the point you stopped the CD (Resume Play) ◻
Normally, every time you stop and play, playing starts from the beginning of the CD. The resume play function, however, lets you listen to from the point at which you last turned off the player.

Set RESUME to ON.

To cancel resume play, set RESUME to OFF.

To turn off the beep
You can turn off the beep that sounds as you operate your player.

Disconnect the power source (AC power adaptor, rechargeable battery or alkaline batteries). While you press and hold down ■ on the main unit, connect the power source again. To make the beep sound again, disconnect the power source, and then connect it without pressing ■.

Connecting to other stereo equipment ◻
You can listen to the CD through other stereo equipment, or record a CD on a cassette tape. Refer to the instruction manual of the other equipment for details. Before making connections, turn off each piece of equipment.

## ▶Playing a CD in a car ◻

You can use your player in a car.

To connect your player to a car cassette deck, you need the following accessories:

- Mount kit CPM-450PC/CPM-300PC (Mount plate + Car battery cord + Car connecting pack)
- Car battery cord DCC-E245 and Car connecting pack CPA-8/CPA-9

Refer to the instruction manual of each accessory for details.

**When you use the mount kit (CPM-450PC or equivalent)**
Attach the car mount adaptor supplied to the mount plate before installing the player.

**Switched ignition function (when using the car battery cord)**
With this feature, your player stops automatically when you turn off the engine of the car. (This function is not possible with some cars depending on the model.)

## Using the supplied remote control ◻

You can use the remote control as the wired remote control.

When you are not using the remote control, slide HOLD in the direction of the arrow to prevent any accidental operations. To unlock, slide HOLD back.

Press ESP. The ESP indication appears.

To release the ESP function, press ESP again.

## Parts identification ◻

<span>1</span> Display	DC IN 4.5 V jack (external power input jack)
<span>2</span> OPEN button	ESP* button
<span>3</span> OPEN button	PLAY MODE button
<span>4</span> ESP* button	HOLD switch
<span>5</span> PLAY MODE button	REPEAT/ENTER button
<span>6</span> HOLD switch	LINE OUT jack
<span>7</span> REPEAT/ENTER button	<span>■</span> (stop) button
<span>8</span> LINE OUT jack	<span>▶▶▶</span> (play/pause) button
<span>9</span> <span>■</span> (stop) button	RESUME switch
<span>10</span> <span>▶▶▶</span> (play/pause) button	<span>☐</span> /REMOTE jack
<span>11</span> RESUME switch	AVLS** switch (rear)
<span>12</span> <span>☐</span> /REMOTE jack	VOLUME control
<span>13</span> AVLS** switch (rear)	SOUND button
<span>14</span> VOLUME control	<span>◀◀◀</span> / <span>▶▶▶</span> (AMS**/search) buttons

\*Electronic Shock Protection
\*\*Automatic Volume Limiter System
\*\*\*Automatic Music Sensor

**How to attach the battery compartment lid**
If the battery compartment lid is detached by an accidental drop, excessive force, etc., attach it as illustrated in the numbered order.

## ▶Power Sources

Using rechargeable battery ◻
Charge the rechargeable battery before using it for the first time. You can use either BP-DM10 or BP-DM20 rechargeable battery for this unit. You can use them in the same way, but their charging time and battery life are different. Check the model number of your rechargeable battery before using. You cannot use any other rechargeable battery.

- Open the lid of the battery compartment.
- Insert the rechargeable battery so that the word “SONY” is facing the same direction as illustrated inside the lid, and close the lid.
- Connect the AC power adaptor. Charge for about 2 hours (for BP-DM10) or 3.5 hours (for BP-DM20).